

令和7年度 第2学期 始業式式辞

1学期の終業式は警報のため、皆さんの前でお話をする事ができなかったのですが、今日、こうして全員の前で話ができることをうれしく思います。

いよいよ今日から2学期が始まります。皆さん一人一人がこういう2学期にしたいと目標を持って今日を迎えたと信じています。一人ひとりが1学期によかった点をさらに伸ばすとともに、反省点を克服し、自分をさらに高める2学期にしてほしいと考えています。

さて、夏休みを振り返れば、始まってすぐに県総体がはじまりました。私も可能な限り観戦させていただきましたが、皆さんは3年生を中心に、本当によくがんばりました。また8月には吹奏楽部がコンクールに臨み、見事に最優秀を獲得し、四国大会に出場しました。総体やコンクールで四国大会や全国大会に出場した人にはここにいるみんなでおめでとうと言いたと思います。一方で、地区総体や県総体で破れ、上位の大会への出場が叶わなかった人もいます。本校の部活動、校外での地域クラブで活動している人も含め、夏の大会に臨むに当たり、手を抜いた人は誰1人いないと思います。私も可能な限り観戦させていただきましたが、どこの会場に行っても、皆さんが一生懸命試合に臨む姿、また、出場選手を応援する姿がありました。観中魂に感動しました。改めて皆さんにお礼が言いたい。ありがとうございました。

さて、スポーツの世界では、うれしいニュースが8月の終わり頃に飛び込んできました。本校の卒業生で、観音寺総合高校1年生の三好初音さんが、ブラジルで行われた新体操の世界選手権に、団体の日本代表として出場し、見事、金メダルを獲得しました。世界大会では史上初の快挙であり、本当にすごいことですが、ここに至るまでの彼女を含めた選手の努力は並大抵ではなかったのではないかと思います。

野球の世界では、元メジャーリーガーのイチローさんが、アメリカの野球殿堂入りを果たしました。その式典でイチローさんが語ったスピーチの一部を紹介したいと思います。

努力に限界はありません。私を見てください。身長1メートル80、体重77キロ。アメリカに来た時、多くの人が「メジャーリーグの大きな選手たちと戦うには痩せす

ぎだ」と言いました。でも、準備を信じていれば、たとえ自分自身の疑念であっても乗り越えられると信じていました。

「チームのためにできる基本的なことは何か？」と聞かれたら、私は「自分自身に責任を持つこと」と答えます。

子供の頃、将来の夢はプロ野球選手になることでした。6年生の時にその夢について作文も書きました。今、当時の自分に向けて書き直せるなら、「夢」という言葉ではなく「ゴール（目標）」と書きます。

夢はいつも現実的とは限りません。でもゴールは、たどり着く方法をよく考えれば実現可能です。

夢を見ることは誰にでもできます。でも、ゴールを持つことは困難で、挑戦が伴います。ただ「やりたい」と言うだけでは足りません。本気で何かを達成したいなら、それを実現するために何が必要かを、真剣に考えなければなりません。私は、プロの選手として鍛えられるには、日々の練習と準備が大切だと書きました。ゴールを持ち続ける中で、「継続こそが達成の土台になる」ということも理解しました。

若い選手たちには、ぜひ大きな夢を持ってほしい。でも、「夢」と「ゴール」は違うということを理解してほしいのです。夢をゴールに変えるには、「何がそれを実現するために必要なのか」を正直に考えなければなりません。

皆さん、皆さんは日々、勉強や部活動、校外でのクラブ活動などに取り組んでいることと思いますが、皆さんにとってゴールは何ですか。

イチローさんは夢という漠然としたものではなく、より具体的なゴールを持つことが大切だと言っています。特に3年生においては、この2学期が自分の進路を決定するために、とても大切な期間になります。自分の中でゴールを定めると同時に、実現するための努力を継続してほしいと心から思います。

結びになりますが、今日から始まる2学期は、3つある学期の中で最も長い学期です。この2学期の過ごし方で、3年生だけでなく、1、2年生も学年の充実度が変わってくるでしょう。どうか、一人一人が心と体の健康にも留意しながら、今、できること、やるべきことに一生懸命取り組んでください。2学期が1学期同様、いや、それ以上のものになることを期待して、始業式の式辞といたします。